

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月28日

事業所名 放課後くらぶエイト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	定期的に外遊びを取り入れている。	運動支援時スペースが満足にとれていないと思う時がある。最低限の活動が出来るスペースは確保出来ているが、活動や状況に応じてはもう少しスペースがほしい。活動内容が制限されてしまう。
	2	職員の配置数は適切である	4	2		基準の人数は確保されているが、専門的支援を行うための職員数は不足している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	トイレや台所など段差があり、踏み台を使っている。玄関は良いが室内の段差が大きい。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	朝礼、終礼等で気づいた点や改善すべき事など意見を出し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		自己評価は年に1回なので今後は回数を増やしてみても良いと思う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		学校の先生たちに事業所訪問を催し、児童の様子を見てもらい、意見を伺いながら連携の強化を図りたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	関連事業所での研修を実施している。また、研修機関の立ち上げ予定である。事業所同士の研修はあるが、外部研修はない。3か月に1回職員全体会議を実施しており、虐待防止等の研修会にも参加している。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	ミーティングを利用して情報公開を行い、児発管を中心に保護者・職員で連携を図り、計画書を作成している。保育士・児童指導員・指導員を含む職員間での話し合いを行い、保護者様と定期的に面談を実施し、支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		市が行っている就学前サポート調査や児童発達支援センターの情報をもとにアセスメントを行っている。事業所で統一したアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	リーダーを中心として児童の特性にあったものを取り入れて職員間で話し合い、立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		様々なパターン、種類のプログラムを考えているが、マンネリ化しないよう工夫している。(静と動を交えています)	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		休日や長期休暇には、食育や園外活動を取り入れたプログラムを立案しています。	職員間のコミュニケーションを深め、支援の質を上げたいと考えている。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	個別支援計画を考慮し、支援している。集団活動の中でも個別に支援出来る支援内容を取り入れ、作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝のミーティングにて確認している。朝礼でその日の活動について説明し、注意点や役割等の確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		毎日、対応・支援を振り返って支援方法を話し合い、次の日に役立たせている。終礼でその日の状況を伝えたり、個別支援記録を書いています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎日支援記録を記入し、全員が支援について共通認識を持つようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		支援計画作成前にミーティングで意見交換を行っている。定期的にモニタリングを行い、職員会議を行った後に記録も残しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		学校の送迎時に職員と先生とで引き継ぐ際、状態・様子などを伺っている。児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	現在、対象児童がいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	必要に応じて行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		移行シート等を活用しながら、担当者会議を行い情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		専門機関との連携は今後、増やしていったほうが良いと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	コロナ過で難しい。	少ないので増やしたほうが良いと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	家庭・事業所内連携、関係機関との連絡帳、送迎時等で情報の共有を行っている。日頃から送迎の際などに保護者様とコミュニケーションを図り、情報を共有するよう努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	家庭・事業所内連携の際、行うのが望ましいのではないか。必要に応じて対応しています。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に時間を設け説明を行っています。また保護者様より問い合わせがあった際もその都度、対応しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	電話、連絡帳にて話している。相談があった際はその都度、対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	なかなか難しい。コロナの為父母会はしているが、回数が少ないと感じる。年に1回、保護者会を実施していますが、コロナの状況を見ながら、今後は保護者交流会としての活動も計画していきたいと思います。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情が発生した場合、管理者を中心に話し合い、周知徹底している。苦情があった際は、速やかに対応し改善に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		「エイト」だよりを毎月発刊するようにしている。毎月、お便りを配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報の遵守に努めている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		特性にあった支援に努めている。特性に応じたコミュニケーション方法が取れるよう配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	コロナにより、なかなか出来ない。	発表会などを開催出来ればと思っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	管理者を中心に各マニュアルを周知徹底している。事業所内でマニュアルを作成していますが、保護者への周知ができていないので今後、保護者会等で伝えて行きたいと思います。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		消防・避難訓練う計画的に行っている。定期的に消防立ち合いにて訓練を行っていますが、今後は職員だけの訓練も必要かと思っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	今後も子ども支援センターを中心に計画している。虐待防止についての研修会に参加し、参加した職員が事業所内で伝達するよう心掛けています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	対象者はいないが、今後保護者への説明及び計画書への記載を考えている。現在、身体拘束について該当する児童がいませんが、身体拘束についての研修会への参加も可能な限り参加するようにしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーのある児童には、おやつ・調理活動等、配慮を行っている。契約時にアレルギーの有無について確認を行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		小さい事でも事例を作成しており、今後の活動に役立たせたい。ヒヤリハットがあった際は、職員で話し合い解決策を考え、事故につながらないよう努めています。	

